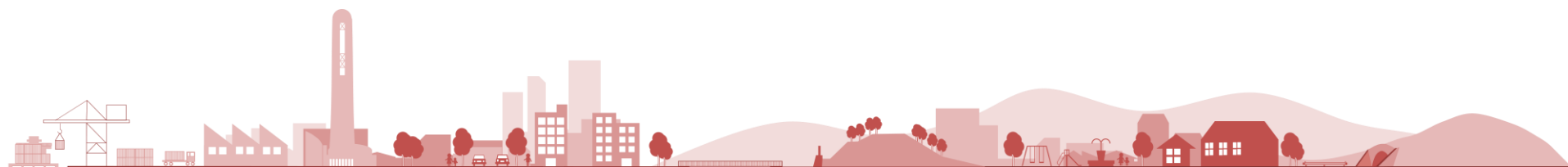


山口きららインクルーシブパーク2022

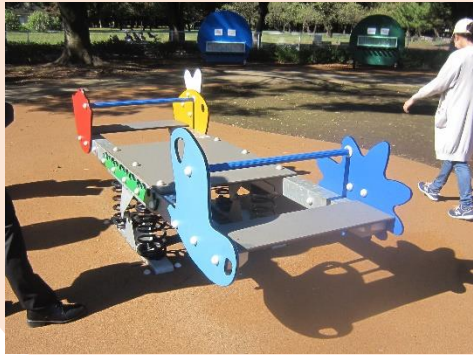
社会実験の概要

山口県土木建築部都市計画課 谷村 雅也



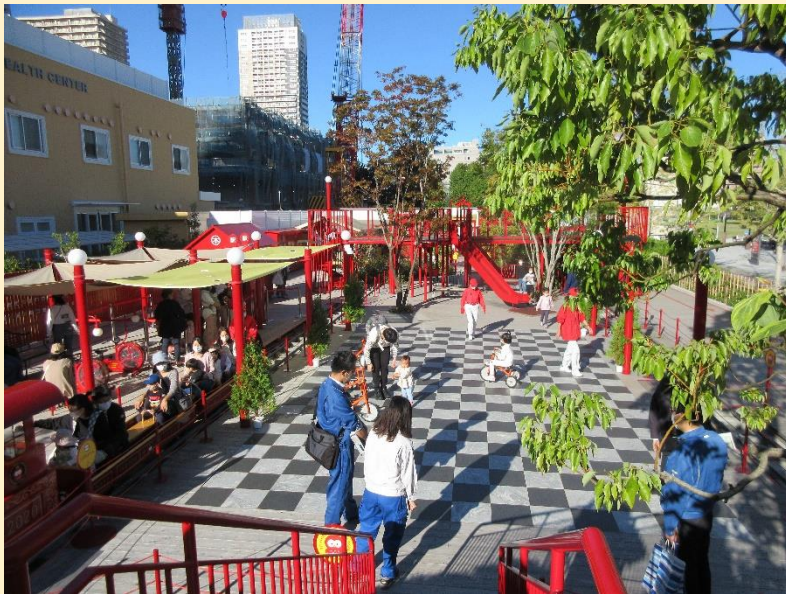
東京都立砧公園みんなのひろば

だれでもあそべる、みんなであそべる



としまキッズパーク

小さな子どもたちの公園



特別支援学校や児童福祉施設等の先生方にヒアリング調査を実施し、現状の公園に問題点が多いことは判明したが、その解決策が見えない。

判明した問題

そもそも乳幼児の遊び場が不足している

障害児が遊ぶために必要な公園施設や条件がわからない？

「インクルーシブに配慮された遊び場」という考え方が成熟していない？

社会実験

実際に遊んでもらおう

障害児のご家族が、「健常児がいる公園に行く」ということに抵抗があるのでは？

「インクルーシブに配慮された遊具」は、巷の大型遊具に比べ迫力がないのでは？

障害のある子、ない子みんなが一緒に遊べるのか？

障害児の遊べる遊具がないのでは？

障害児を持つご家族は、公園についてどう思っているのか？

目的

「インクルーシブパーク」を期間限定で設置し、多くの県民に実際に遊んでもらうことで、ニーズや課題を抽出し、今後の遊び場空間の整備に活用することを目的とした。

実施期間

令和4年10月2日（日）

～令和4年10月23日（日）

実施場所

山口きらら博記念公園 大芝生エリア



インクルーシブパークってなあに?
障害があってもなくても、誰でも分けへだてなく遊べる公園です。それぞれの遊び方で楽しめるような工夫がいっぱい！ぜひ体感してみてください。

山口きらら インクルーシブパーク2022

障害のある子、ない子、みんなが遊べるみんなの公園登場!!

期間限定オープン

場所: 山口きらら博記念公園 大芝生広場 (山口市阿知須)
期間: 2022年10月2日(日)～10月23日(日)
10:00～16:00(土・日・祝)
※平日利用については、下記問合せ先にお問い合わせください。

期間中、最新の遊具が約20種類登場!

日	月	火	水	木	金	土	日
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		

- 10:00～16:00 一般開放日
- 10:00～12:00 特別支援学校、児童福祉施設等関係者優先開催
- 13:00～16:00 一般開放日
- 事前予約のあった団体による利用日

【注意事項】

- 天候・新型コロナウイルスの状況により、中止になることがあります。
- 社会実験会場内の人数が多くなった場合、入場を制限することがあります。
- 必ず保護者の方が付き添い、お子様の安全管理をお願いします。
- 社会実験会場内での怪我や事故に関しては、一切の責任を負いかねます。

ゆめ花マルシェ 開催期間 10月8日(日) 9日(月) 10:00～16:00

【パートナー企業】 内田工業株式会社、株式会社ジャクエツ、タカオ株式会社
【協力】 山口大学・山口学芸大学・きらら未来創発パートナーズ(公園指定管理者)・山口きらら博記念公園活性化協議会
【主催】 山口県 【問合せ先】 山口県土木建築部都市計画課 TEL.083-933-3728

○社会実験期間中に、現地にて遊具説明会を開催（4日間）

説明会参加者は、子どもたちが楽しく遊んでいる状況を視察し、参加者自身も体験することで、インクルーシブに配慮された遊具の特徴を把握することができた。



説明会の開催状況



遊具を体験する下関市公園担当職員



遊具の説明を受ける説明会参加者

○パートナー企業3社により多くの遊具を設置

3者3様のインクルーシブへのアプローチ、コンセプトが異なる遊具が設置され、子どもたちが思い思いの遊具で楽しむことができた。



一般的な公園遊具をユニバーサルデザインに配慮した形に改良した遊具を展示



大型遊具に強い会社が、強みを生かした、車いすでも楽しめる複合遊具を中心に配置。



幼稚園、保育園の遊具メーカーならではの視点で、発育の進度にあわせて、重度障害児まで楽しめるように発展させた遊具を展示

3社集まる効果は絶大

福岡市のイベントを視察し、実験開催の参考としたが、それと比べ、規模は3倍になり、バス遠足等により、多くの幼稚園児、保育園園児を受け入れることができた。

福岡市のイベント会場（30人規模）



遊具メーカー1社

本社会実験会場

100人規模に対応

ジャクエツエリア



内田工業エリア



タカオエリア

3者三様のコンセプトが楽しさを創出

同じ機能（滑る、揺れる等）の遊具でも、コンセプトが違っていると違った楽しさを生み、さらに多様な障害に対応して、みんなが楽しむことができた。

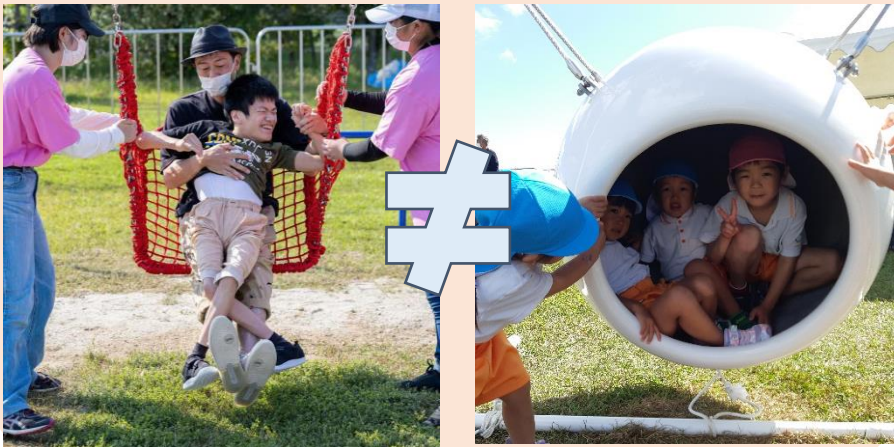
すべり台



スプリング遊具



ブランコ



トランポリン



遊具に関する気付き

インクルーシブに配慮された遊具は、障害のある子もいない子もみんな楽しい遊具であることが、多くのリピーターにより証明できた。



家族でも、友達どうしでも楽しい
介助がしやすい
親子で楽しい

友達との距離が縮まった

気が付いたら一緒に遊んでいた



遊び方もいろいろ
得られる達成感

みんなで楽しい
素朴な感覚が楽しい



特別支援教育施設や幼稚園等へのヒアリング調査結果から、多くの子どもたちを集めるだけでなく、更に安全を見守る必要があった。

平日団体利用開放時の疑問

【遊び方】

子ども同士であそぶ



休日一般開放時の疑問

【遊び方】

家族ごとにあそぶ



- ・なるべく子供たちを招待するには？
- ・この広場では何人が遊べるの？
- ・何時なら子どもたちは遊びに来れるの？
- ・どのような管理体制で臨めばいいの？
- ・子供たちはどのくらいの時間あそぶの？
- ・果たして子供たちは楽しんでくれるの？

- ・子どもが無茶な遊び方をしない？
- ・子どもへの接し方はどうするの？
- ・障害のある子とない子が、同じ遊具で遊んで大丈夫？
- ・1人で遊具を占有したりしない？
- ・子供同士のトラブルは起きない？
- ・子どもと遊具をめぐる家族同士のトラブルは起きない？
- ・障害のある子がたくさん子どもたちがいる輪の中に入っていけるの？

本社会実験の協力団体

大学や遊具メーカー、県庁内教育、福祉関係部局の協力により、様々な取り組みができた。

協力団体① 山口大学教育学部

川崎准教授との共同研究により、乳幼児の遊び場の重要性や社会実験内容について、多くの助言をいただいた。また、遊具説明会において、公園並びに遊具の重要性について講演をしていただいた。



協力団体② 遊具パートナー企業3者

社会実験会場に多数のインクルーシブに配慮された遊具を提供いただいた。

3者のインクルーシブへのアプローチの違う遊具が、それぞれ配慮した部分の比較対象となり、来場者の「インクルーシブへの理解度」を高めることにつながった。



協力団体③ 地元幼稚園

県庁近隣の「野田幼稚園」、公園近隣の「阿知須幼稚園」の先生方より、平日の団体予約による社会実験会場の運営方針や安全管理ポイントについて、多くの助言、ご指導をいただいた。



本社会実験の協力団体

大学や遊具メーカー、県庁内教育、福祉関係部局の協力により、様々な取り組みができた。

協力団体④ 県庁内教育、福祉関係部局

県内すべての特別支援学校、児童福祉施設等、幼稚園、保育園、小学校に対し、周知、広報の協力を得た。そのことにより、多くの団体のバス遠足等での来場につながった。



協力団体⑤ 山口学芸大学教育学部

社会実験会場の一般開放時における安全管理について、全面的に協力いただいた。先生を目指す学生が持つ、子どもたちを引き付ける多彩な特技が、子どもたちを魅了し、社会実験会場の魅力の1つとなり、安全に楽しく遊べる場所となっていた。



協力団体⑥ 山口きらら博記念公園活性化協議会

2万人の来場があった、「ゆめ花マルシェ2022」との連携、広告制作物の作成、SNSによる広報など、クリエイティブな部分で協力をいただいた。



協力団体⑦ 公園指定管理者

公園備品の提供、テント設営等の会場運営労務の補助、休日運営ボランティア協力、指定管理者人気自主事業「ミズノ流忍者」体験会の開催など、社会実験会場の運営、盛り上げに協力いただいた。



県は、多くの子どもたちに安全に遊んでもらうため、特別支援学校や児童福祉施設等のヒアリングで得たアドバイスを実践した。

ソフト対策

スタッフシャツの統一

遊ぶ子供や ご家族の安心につながる。



遊具へのいざない

学生ボランティアの声掛けにより、遊具が持つ様々な遊び方を学ぶ。



アンケートも楽しく

ただ意見を聞くだけでなく、答える子どもたちも楽しく回答。



落ち着いて遊べる日の設定

特別支援学校、児童福祉施設等に通う子供たちの優先日を設定。



ハード対策

見守りやすく

ご家族が休憩しながら目が行き届くような遊具配置



次の遊具へ動きやすく

遊具間隔を広く確保し、導線にゴムマットを設置
遊びながらも周囲の遊具が視界に入るような配置



飛び出しを防止

外周を柵で囲い、会場外への飛び出しを防止



賑わいを演出

広大な大芝生広場の一角に、のぼりとテントでイベント感を演出し、会場を明示



本社会実験の来場者数

○多くの関係者のご協力や、テレビ取材、SNS等を活用し広報した結果、多くの方にご来場いただいた。

○県庁内教育、福祉関係部局による、県内すべての総合支援学校、児童福祉施設等、幼稚園、保育園、小学校への案内により、3,000名を超える平日団体利用があった。

○社会実験実施期間

10月2日（日）～10月23日（日）の約3週間

予想を大きく上回る期間中の来場者 **10,084人**

集まった大量のアンケート票 **1,400件超**

県庁内教育・福祉関係部局の案内により
平日に遠足で御来園いただいた団体数

- ・総合支援学校、児童福祉施設等 26団体
- ・幼稚園、保育園 27園，小学校 3校

合 計 5 6 団 体 (3,096名)

